



酒井 康行



藤井 輝夫

基礎生物学と先進工学・臨床医学の融合による新たなバイオ・診断治療技術の開発へ

次世代バイオ・医療技術探索研究会

RC-87

1. 代表幹事

酒井康行（東京大学 生産技術研究所 教授）

藤井輝夫（東京大学 生産技術研究所 教授）

幹事

阿久津英憲（独立行政法人国立成育医療研究センター 室長）

芝 清隆（公益財団法人がん研究会 がん研究所 部長）

連絡先

酒井康行

Tel : 03-5452-6352

Fax : 03-5452-5353

e-mail : sakaiyas@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

健康・医療産業は我が国の成長戦略における重点分野のひとつであり、細胞等の生体材料を積極的に利用した再生医療や創薬・診断技術にも高い期待が寄せられている。我が国の関連学問や技術のレベルは個々には極めて高いものの、残念ながら医療産業の国際競争力は決して高くはなく、細胞等を利用した新たな医療においても苦い経験を踏まえた推進が必要である。その一つとして、従来の学問・技術の枠を超えた広い連携と斬新な発想とが重要であると認識している。

本研究会では、生産技術研究所に平成26年度から設置される「統合バイオメディカルシステム国際研究センター」および外部連携機関等の研究者と密接に連携しながら、以下に列挙するような応用分野や学問・技術を念頭におき、分子・細胞から個体、予防から診断に至るまでの革新的医療システムの創生について、探索的な情報交換・議論を行うことを目的とする。

●応用分野：細胞治療、再生医療、人工臓器、生殖医療、疾患診断・治療、

in vitro薬効・毒性予測、院内感染制御、疾患予防、感染症

●キーワード：生体組織工学、幹・前駆細胞、初期化、増幅・分化誘導、診断・治療デバイス、創薬・毒性評価デバイス、マイクロフルイディクス、マイクロファブリケーション、オーガンチップ (Organ-on-a-Chip)、非侵襲的診断、血中循環腫瘍細胞 (CTC)、ナノメディスン、疾患マーカー、個別化医療、ペプチド、ペプチドアプタマー、エクソソーム、ナノ粒子、miRNA、数理解析予測等

3. その他

期 間：平成26年4月～平成27年3月

参 加 費：賛助員の場合（賛助会費1口10万円）：30万円

非賛助員の場合：40万円

定 員：最小3社、最大15社程度

運 営 方 法：年4回程度の研究会を開催する。

2回は生産技術研究所内、2回は幹事所属の生研外の機関にて開催予定。

関連分野の研究者の講演会及び関連学会の参加報告等を行う。